

# 姫路市情報セキュリティ用語集

- 「運用環境」  
実際の業務で情報システムが稼動する仕組みの総称をいう。
- 「遠隔消去機能」  
モバイル端末等に記録してあるデータを、当該端末から操作するのではなく、離れた場所から遠隔操作（リモート）で、消去、無効化する機能をいう。モバイル端末等を紛失したり盗難にあった場合に、情報漏えいを防ぐ目的で利用される。
- 「開発環境」  
プログラムの作成、変更及び開発したプログラム等のテストを行うために設置された開発者のみがアクセスできる仕組みの総称をいう。
- 「クラウドサービス」  
事業者等の庁外の組織が、情報システムの一部又は全部の機能を提供するものをいう。ただし、当該機能において自組織の情報が取り扱われる場合に限る。
- 「クラウドサービス管理者」  
クラウドサービスの利用における利用申請の許可権限者から利用承認時に指名された当該クラウドサービスに係る管理を行う者をいう。
- 「クラウドサービス提供者」  
クラウドサービスを提供する事業者をいう。クラウドサービスを利用して自組織に向けて独自のサービスを提供する事業者は含まれない。
- 「外部ネットワーク」  
市が管理していないネットワークの総称をいう。例えば、インターネット、総合行政ネットワーク（LGWAN）、住民基本台帳ネットワーク、プロバイダ等がそれにあたる。
- 「管理者権限」  
情報システムを管理するために必要なアクセス権限をいう。
- 「情報システム機器」  
情報システムを構成し、又は構成し得るハードウェアの総称をいう。サーバ、パソコン、モバイル端末、プリンタ・複合機等の周辺機器、ハブ・ルータ等のネットワーク機器等を含む。

- 「情報セキュリティインシデント」

望まない単独若しくは一連の情報セキュリティ事象、又は予期しない単独若しくは一連の情報セキュリティ事象であって、業務の遂行を危うくする確率及び情報セキュリティを脅かす確率が高いものをいう。
- 「情報セキュリティ事象」

情報セキュリティポリシーへの違反若しくは管理策の不具合の可能性、又はセキュリティに関係し得る未知の状況を示す、システム、サービス又はネットワークの状態に関連する事象。
- 「情報セキュリティマネジメントシステム  
(ISMS : Information Security Management System)」

情報セキュリティを管理するための仕組みをいう。具体的には、情報セキュリティポリシー等のルールを定め、ルールに従って運用し、監査等によりルールの評価を行う一連の流れを指す。
- 「情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格」

情報セキュリティマネジメントシステムを実施するための国際的なルール。現在は、ISO/IEC27001 が最新規格である。
- 「ソーシャルメディアサービス」

インターネット上で展開される情報メディアのあり方で、組織や個人による情報発信や個人間のコミュニケーション、人の結びつきを利用した情報流通などといった社会的な要素を含んだメディアのことをいう。利用者の発信した情報や利用者間のつながりによってコンテンツを作り出す要素を持った Web サイトやネットサービスなどを総称する用語で、電子掲示板(BBS)やブログ、動画共有サイト、動画配信サービス、ショッピングサイトの購入者評価欄などを含む。
- 「多要素認証」

システムが正規の利用者かどうかを判断する際の信頼性を高めるために、複数の認証手段を組み合わせる方式をいう。認証方式は大きく分けて「知識」、「所持」及び「存在」を利用する方式がある。それぞれの認証手段には各々異なった利点と欠点があり、複数の認証方式を組み合わせることが利用者認証の信頼性を高める意味でも有効である。

- 「端末」

回線やネットワークの末端に接続され、他の機器と通信を行う主体となる機器の総称をいう。パソコン、モバイル端末を含む。
- 「庁内ネットワーク」

地方公共団体の庁舎・出先機関を含めた団体が管理主体となるネットワーク及び同ネットワークの管理・運用を受託している事業者がデータセンターに設置する情報システムをいう。
- 「電子署名」

情報の正当性を保証するための電子的な署名情報をいう。
- 「電磁的記録媒体」

持ち運びが可能な電子データの記録媒体をいう。USB メモリ・SD カード等の各種フラッシュメモリ、ハードディスク、FD、CD-R、DVD-R、LTO 等がある。
- 「特定用途機器」

テレビ会議システム、IP 電話システム、ネットワークカメラシステム等の特定の用途に使用される情報システム特有の構成要素であって、通信回線に接続されている又は電磁的記録媒体を内蔵しているものをいう。
- 「特権を付与された ID」

サーバの起動や停止、アプリケーションのインストールやシステム設定の変更、全データへのアクセスなど、通常の ID よりもシステムに対するより高いレベルでの操作が可能な ID をいう。
- 「パソコン」

端末のうち、机の上等に備え置いて業務に使用することを前提とし、移動しながら使用することを目的とはしていないものをいい、端末の形態は問わない。
- 「標的型攻撃」

明確な意思と目的を持った人間が特定のターゲットや情報に対して特定の目的のために行うサイバー攻撃の一種をいう。

- 「保守」

情報システムの点検作業をいう。不備、不具合等があった場合の調整及び修復作業も含む。
- 「モバイル端末」

端末のうち、業務上の必要に応じて保持した状態で使用することを目的としたものをいい、端末の形態は問わない。
- 「約款によるクラウドサービス」

民間事業者等の庁外の組織が約款に基づきインターネット上で提供する情報処理サービスであって、当該サービスを提供するサーバ装置において利用者が情報の作成、保存、送信等を行うものをいう。ただし、利用者が必要とする情報セキュリティに関する十分な条件設定の余地があるものを除く。
- 「例外措置の申請書」

基本方針及び対策基準に基づく対策の実施が困難であると判断した要件や理由を明確にし、CISO に承認を求める様式。
- 「ログ」

不正アクセス及び情報セキュリティインシデントの兆候の発見並びに原因究明を目的として情報システムから収集される情報（重要な情報資産に対するアクセス情報等）をいう。
- 「BCP（Business Continuity Plan：業務継続計画）」

組織において特定する事業の継続に支障をきたすと想定される自然災害、人的災害・事故、機器の障害等の事態に組織が適正に対応し目標とする事業継続性の確保を図るために当該組織において策定する、事態の予防及び事態発生後の事業の維持並びに復旧に係る計画をいう。
- 「CSIRT（Computer Security Incident Response Team）」

コンピュータやネットワーク（特にインターネット）上で何らかの問題（主にセキュリティ上の問題）が起きていないかどうか監視すると共に、万が一問題が発生した場合にその原因解析や影響範囲の調査等を行う組織の総称。

- 「ID」

コンピュータシステムにログインする場合に使用する、利用者が誰であることを識別するアルファベット及び数字等を組み合わせた識別記号をいう。ID カードも含む。
- 「Web（ウェブ）会議サービス」

離れた場所にいる複数人の参加者が、インターネット上の仮想会議室にアクセスし、リアルタイムで音声、映像や資料データなどを画面共有することができるサービスをいう。なお、特定用途機器同士で通信を行うもの（テレビ会議システム等）は含まれない。